なぎそ 議会だより

平成30年８月臨時会／９月定例会・全員協議会

議会の眼：いざというときに備えましょう！（９月 町防災訓練 北部地区）

８月臨時会 ……22p
- ７月災害
- 田立U－住宅

９月定例会

議案などの審議 ……23p
- 雨量観測システム更新工事契約
- たばこ税率引き上げの条例改定
- 請願・陳情…私立高校への支援

平成29年度決算審議 ……24p

一般質問　８人の議員が質問 ……26p

補正予算審議 ……34p
除雪対策、クレジットカード、若者まちづくり、蘇南高校の駐輪場、三軒屋の水道、農産物振興、学校などのエアコン整備計画

全員協議会 ……35p
- 読書保育園の駐車場整備案示される
- 台風21号による災害
- 県立高校再編改革の状況
- 町の医療についての報告

今年も医療アンケート実施

シリーズ「聞いて私の思い」 ……39p
蘭地域振興協議会会長　古川光弘さん

8月臨時会 可決議案

専決処分案件

●財政調整基金の処分
平成30年7月豪雨の災害警戒等に係る各種経費及び災害応急復旧事業の財源に充当するため、財政調整基金を700万円取り崩し、30年度一般会計予算に繰入れるものです。

●平成30年度一般会計補正予算（第3号）
318万4千円を歳出予算内で組み替え、総額37億155万円となります。
主に豪雨や火災に伴う警戒体制、消防出動、応急復旧などです。

●平成30年度一般会計補正予算（第4号）
887万3千円を追加し総額37億1042万3千円となります。
主に町第3分団の消防ポンプ操法長野県大会出場に伴う参加費及び大会運営に協力した費用です。

質疑

7月5日災害対策関係

Q 上流の降雨に伴い、ダムからの毎秒931トンの放水により木曽川周辺地域の住民に避難勧告が出された。降雨量予測などの解析で、もう少し計画的放水ができないか。
A 総務課長 関係機関との会議で計画放水を要望していますが、利水目的のダムのため雨が降らないと渇水になり、前もっての放水は難しいとのことでした。

Q 避難準備・避難勧告が出された場合、避難所の開設は、誰が行うか決まっているのか。
A 総務課長 町が指定した場合は町が開けます。自主的に開ける場合は、その地区で対応をお願いしています。
今回は5箇所の避難所を指定し開設しています。避難者は35名、要支援者は25名でした。

Q 避難弱者が避難者の約半数以上と多い状況である。今後の地域での取り組みは。
A 町長 梨子沢災害でも要支援者の把握は苦労しました。
資料や情報の共有化や適切な使い方、対策本部と各地域との役割分担などの訓練も行っていきたいと考えます。

避難所の設備

Q 避難所の熱中症対策に導入する20台のスポットクーラーは。
A 戦略室長 通常は分館、保育園、小中学校、社会体育館に配置し、有事の際は必要な場所に移動して使用する予定です。
教育委員会が管理し、停電時は発電機で対応します。

Q スポットクーラーは部屋の中に冷気だけでなく熱も排出するが。
A 戦略室長 ダクトを付けて外に排熱するように検討します。

Q 小中学校と保育園には、恒常的な設備が必要ではないか。
A 戦略室長 財源的、構造的に早急な対応はできませんが、今後、検討していきます。

契約関係

●ユーアイ住宅 元組 北団地建設事業請負契約の締結

契約金額
7830万円
契約の相手方
株式会社麦島建設
長野営業所

質疑

Q 入札において町内事業者は優遇されないのか。
A 副町長 検討項目として研究していきたいです。

Q 予定価格は事前公表したのか。
A 建設環境課長補佐 事前公表した予定価格は税込8千万円です（税抜7407万4千74円）。この価格は坪当たり約60万で算定し、最低制限価格は設けていません。

Q 若者の住みやすい住宅とあるが特徴は。
A 建設環境課長補佐 木材を多く使用し、外壁にも木曽五木を張り、南木曽町の景観にあった建物としています。

Q 地盤改良も含めて2月末完了に間に合うのか。
A 建設環境課長補佐 入居募集は3月、入居日は4月と考えて準備を進めています。

平成30年7月期補正予算
※第4号（8/8決）

一般会計補正予算
8873万円を増額
総額 37億1042万3千円に

●会計別補正予算 （単位：千円）

会計	補正額	補正後の金額
一般会計	8,873	3,710,423

●一般会計補正の主なもの （単位：千円）

事業名	金額
水防体制に伴う時間外手当	2,000
平成30年7月豪雨災害被災町村支援費用	402
避難所毛布クリーニング代	51
スポットクーラー購入費	2,500
災害・火災出動費	1,841
農業用施設災害復旧費	1,000
道路橋梁災害復旧費	1,700
観光地災害復旧費	540

9月定例会 可決議案

●**財政調整基金の処分**
平成30年7月9日発生の台風21号に係る災害関連事業の財源に充当するため、財政調整基金を2400万円取り崩し、30年度一般会計予算に繰入れるものです。

契約関係

●**CD・I型消防ポンプ自動車1台の購入**
契約金額 1976万4000円
契約の相手方 コバボーシステム株式会社

●**小型動力ポンプ付普通積載車2台の購入**
契約金額 2155万6800円
契約の相手方 コバボーシステム株式会社

質疑

Q 指名競争入札で契約をしているが、入札業者の数は。また、予定価格の決定方法は。
A 総務課長
業者は5社ほどで行いました。予定価格は、参考として3社から見積もりを取り、単価を設定した金額を予定価格としています。

●**雨量観測システム更新工事請負契約の締結**
契約金額 5562万円
契約の相手方 長野日本無線株式会社信越支店

条例の改正

●**税条例の改正**
地方税法等を改正する法律等の公布に伴う改正です。

質疑

Q 紙巻たばこと、加熱式たばこの税率は。
A 税務会計課長
加熱式たばこは製品重量の関係で税負担が低かったが、今回の改正でたばこ全体の税率の公平化が図られています。

請願・陳情

●**私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書**
私立高校の就学支援金制度の拡充と経常費補助の増額や、教育条件改善のための施設整備費の補助、授業料軽減補助の増額を要望するものです。
提出者 中信地区私学助成推進協議会 会長 宮坂 高幸
結果 採択・意見書送付

木曽広域連合 議会報告

木曽広域連合8月定例会の主な内容です。

●**職員定数条例の改正**
県への派遣に伴い、消防職員の定数を暫定的に1名増とする改正です。

●**平成30年度一般会計補正予算（第2号）**
612万円を追加し総額40億3160万1千円となりました。
主に前年度繰越金の確定に伴う分担金負担金調整、緊急の修繕費計上などによるものです。

●**平成30年度介護保険特別会計補正予算（第2号）**
1億4524万7千円を追加し総額42億5432万5千円となりました。
主に決算の確定に伴う前年度精算金の計上によるものです。

全員協議会

◆**FTTH化促進事業**
FTTH化（ケーブルテレビ光化）事業について、今年度は、木祖村一部、王滝村全域、大桑村全域で工事が始まります。

◆**旧南部クリーンセンター解体工事の概要**
現在、解体作業を行っており、今年度中に完了する計画です。

旧南部クリーンセンター解体工事

平成29年度木曽広域連合各会計歳入歳出決算

（単位：円）

会　計	歳入決算額	歳出決算額	翌年度へ繰り越すべき金額	実質収支額
一　般　会　計	4,837,978,196	4,786,431,129	51,547,067	51,547,067
介護保険特別会計	4,085,616,645	3,939,328,179	146,288,466	146,288,466
合　　計	8,923,594,841	8,725,759,308	197,835,533	197,835,533

平成29年度決算を認定
（決算の概要は、広報2P～3P参照）
～決算認定審議（主な質疑）～
（成果報告書、人事評価制度、自立推進計画、リニア対策に関する水源など）

Q 成果の評価がわかりやすい報告書ができないものか。

A 戦略室長
重点的に取り組んできた事業等は総括で反省、課題も含め述べています。出た意見を参考に、来年度の成果報告について、内部で検討していきます。

Q 歳入に関して、法人住民税の大幅増の要因は。

A 税務会計課長
平成28年の建設事業が非常に多かったため、増額となりました。

Q 固定資産税区分の償却資産としての大臣配分が、平成28年から毎年数百万円減ってきているが。

A 税務会計課長
大臣配分償却資産というのは送電事業ですとか鉄道、通信といった設備にかかる固定資産で、国または県が評価して配分するものです。年々減っていますが詳細は不明です。

Q 特別交付税の減は。

A 総務課長
平成26年度の災害に3年間措置された特別交付税が無くなったためです。

Q ふるさと納税が増額となっているが、支出が少ない理由は。

A 戦略室長
基金積立を行っています。今後、基金で事業を実施していきます。

Q 基金のあり方について町の考えは。

A 総務課長
地方で基金残高が増えているのは、それだけ裕福なのではという主に国の財務当局の意見があります。
財政調整基金だけが突出して増えていくというような形は、これからは望めないかと思われます。なるべく特定目的基金にシフトしていきたいとは考えています。

ふるさと納税の充当により、29年度に購入した防災対応タブレットＰＣ

要望 個人の町民税も減っており、地方への税の配分をしっかりやっていただく働きかけをお願いしたい。

Q 職員定数の自立推進計画後の状況は。

A 総務課長
自立を決めた平成17年度以降、国・県から各町村の事務として下りてきた業務が多くあること。
平成26年の災害等で一時的に職員の不足が生じ増やしたこと。高齢化が進んで地域、町民で負担しにくくなっていることなどの理由で、職員の人数減にはなっていません。

Q 臨時職員の採用について、方法や条件は。

A 総務課長
いろいろな形態があります。専門職の方もいますし、一般で臨時的に事務をお願いする方もいます。
専門職等では、継続をお願いするような方もいます。全てにおいて広報で公募する形をとれればいいのですが、専門職などは難しいと考えています。

要望 住民からは応募したかったが知らない間に決まっていたということがある。

Q 人事評価制度は誰が行い、どのように反映させているか。

A 総務課長
係員は係長と課長、係長は課長、課長は副町長と町長が評価者となります。
実施して2年目ということで制度が完ぺきに確立していないので、給料などに反映はしていませんが、現段階では仕事への意欲向上を目的に行っています。

Q 第2次自立推進計画は平成28年度で終わっているが、どのように第10次総合計画に継続されているか。

A 戦略室長
自立推進計画については、第10次計画に、その精神を受け継いだ形で策定しています。

Q 東山公園の整備事業内容は。

A 戦略室長
まちづくりの一環として、三留野地域振興協議会の事業に対し、県の元気づくり支援金を受け、町も地域づくり補助金を交付しています。

9月定例会
8人の議員が一般質問

質問順

◇ 近藤　　隆 議員
- 林業の経営集約化に向け境界確認を
- 集約型ショッピングセンターの開設計画は

◇ 赤坂　　孝 議員
- 観光客に向けた公衆トイレの整備を

◇ 高橋　　進 議員
- 災害対策の見直しをお願いしたい
- 移住定住対策で子育て支援の充実化を

◇ 伊藤　寿子 議員
- 出産・子育てがしやすい環境づくりを
- 万全な災害対策のため消防委員会の再開を

◇ 矢澤　和重 議員
- 移住定住につながる工夫を
- 若者のためのまちづくりを

◇ 坂本　　満 議員
- 子どもの医療費、レセプト代の全額補助を
- 新たな森林管理システムには課題が多いが

◇ 早川　親利 議員
- 豪雨時の上流ダムの放流対策、木曽川洪水の氾濫予測シミュレーションを

◇ 北原　隆光 議員
- 私有林（民間の山）の売買等規制、条例化を

※一般質問の質疑内容は各議員の編集によります。

植樹祭が行われた東山公園

一つの観光資源として、また、地域住民の憩の場ということで、5年計画で東山公園を整備していきたいと計画を立てています。

Q 上下水道事業関連で、浄化槽事業については、期限を設けて水洗化率を上げることはできないか。

A 建設環境課長
上下水道審議会や部内においても水洗化を推進できるように協議しています。

Q 上下水道の収入を増やすためのマンホールカードの取り組み状況は。

A 建設環境課長
今年度、マンホールカードの作成を計画しています。

Q 長者畑草地は今後どうしていくのか。

A 産業観光課長
牧草の更新をしながら様子を見ていますが、国有地なので、将来的に返却も含め草地組合と協議をしています。

Q 健康診断の受診率向上の具体策は。

A 住民課長
がん検診料などの補助で受診しやすくしています。今後制度を検証しながら検診率を上げ、医療費抑制に繋がるよう努力します。

Q 木質バイオマス利用意向状況調査を実施したが、結果の活用や、住民への報告は。

A 産業観光課長
循環型木材利用に関する懇談会を立ち上げ、調査研究を始めています。意向調査結果は、町ホームページで公表しています。

Q リニアに関する水源対策調査に町費を使っているが、どのような考え方で実施するか。

A 町長
今後JRと交渉を進めていく上で、町が事前に調査を行うことは必要と考えています。

林業の経営集約化に向け境界確認を

A 森林環境譲与税の活用を検討したい

集約型ショッピングセンターの開設計画は

A 2～3年後の着工をめざして協議中

近藤　隆 議員

森林経営管理制度の有効活用を

Q 今年度5月に成立した森林経営管理法は、私有林を面的に集積して利益の見込める山林については、事業者を公募して間伐や伐採を任せそこで出た収益を所有者に分配し、また利益の見込めない山林については市町村が間伐などを行う仕組みである。

町はこのシステムを今後どのように取り入れていくのか。

A 今後森林所有者の意向を調査して順次進めていく予定です。

Q この事業には、森林環境税（譲与税）が財源として使われることになっているが、当町へはどのくらい交付されるか。

A 最初は、700～800万円で平成45年度以降は約2500万円と見込んでいます。

Q この事業を進めるには、私有林の境界が確定していることが前提となると思われるが、山林の国土調査の進捗率と調査完了までの期間は。

A 山林部の調査は平成18年度から実施し、進捗率は約8％です。このペースいきますと完了までに約120年かかります。

Q 国土調査完了までにかなり長い年月がかかるので、森林環境税（譲与税）を活用して境界確認作業を先行できないか。

A 国では、森林環境税（譲与税）で境界確認作業も想定をしています。

意見 新しい制度で問題点や課題等はあるが、将来の新たな雇用創出と林業振興につなげていくためにも、この制度を有効に活用していただきたい。

買い物弱者対応のショッピングセンターの開設を

Q 近年町は、高齢化と人口減少が進み商店も減ってきている。このような状況に伴い、買い物弱者が増えているが、その対策のひとつとして集約型ショッピングセンター開設計画がある。現在、商工会、町、出店者さんなどが参画して開設協議会が設立されているが進捗状況は。

A ショッピングセンターの建設場所は、国道沿で駐車場が確保できる場所が良いということで、現在の商工会と南木曽町交番周辺で商工会内の研究会が協議を進めています。

Q 開設計画上の課題や問題点は。

A 土地については町有地で特に問題はありませんが、交番、JAの倉庫と民間建物の移転が課題となっています。JAと個人の方については、代替地と建物移転補償。交番については、今後協議を進めていく段階です。

Q 交番の移転費用と移転の時期は。

A 現在県では交番移転計画は未定なので、費用については分かりませんが、出店者等の負担となります。また移転についての結論が出るまでには時間がかかると思われます。

Q 開設計画の中で買い物弱者対策の具体策は。

A 運転のできない方がショッピングセンターに立ち寄れるように地域バスの路線に組込んでいきたいと考えていますが、協議会ではまだ具体的になっていません。

Q 開設計画の結論を出す期限は設けているか。

A 協議会では、2～3年の間に工事着手を考えていますので、それまでに結論を出す予定です。

Q 町の支援は。

A 現在は研究会に加わっていることや警察署との連絡役となっていますが、実際の運営方法が決まった段階で町としての具体的支援を考えていきます。

意見 今後も買い物弱者が増えてくるので、持続可能なショッピングセンターを目指して、町としても慎重かつスピード感を持って進めていただきたい。

ショッピングセンター建設予定地

観光客に向けた公衆トイレの整備を

Ⓐ 関係機関と協議し検討していきたい

赤坂　孝 議員

日本遺産登録後の観光客の数は

Q 今年の夏休みシーズンと、木曽路が日本遺産登録された後の、観光客の数は。快適に観光をして、楽しんでもらえるような対策は何かされているか。

A 国の観光施策もあり、インバウンド事業で外国人観光客は増加傾向にあります。町でも対応出来るように、パンフレット・HPや看板の整備、バス車内や駅前案内所で英語対応をしています。他にも、大学生のインターンシップを活用し、外国人へのアンケートを実施したり、国や県から誘致事業に合わせた展開をしています。

観光客対策の公衆トイレの状況は

Q 馬籠、妻籠から三留野まで、与川には遊歩道があるが、公衆トイレの数は。また、所有者（設置者）は誰か。

A 公衆トイレの数は、中山道、柿其、田立の滝等道沿いで28箇所あり、基本的には町で設置しています。

Q 設置場所は妥当か。

A 6月の議会では、馬籠峠の頂上や三留野宿街道沿いに必要ではないかという意見をいただいています。

Q トイレを使用する時に綺麗であるほど気持ちが良いと思うが、現在28箇所もあるトイレの維持管理は誰が、どこで、どのように行っているのか。

A 維持管理は、観光協会支部のある場所は支部で、馬籠から妻籠は妻籠を愛する会で、一部は建物のある行政区で、それぞれ管理をお願いしています。

蘭社会教育施設公衆トイレ

Q トイレの維持管理にかかる、洗剤、トイレットペーパー、電気代、水道費用などの負担は誰がしているのか。

A 収益のある施設については一部例外もありますが、基本的には設置者である町が負担しています。

Q 毎年、予算化をしているのか。

A 毎年、町の一般会計で予算化しています。一部は、観光協会で予算化しています。

Q 清掃作業はボランティアが行っているのか。また、作業費の負担は誰がしているのか。

A 観光協会支部にお願いしてあるものは支部の中でやりくりし、役員等が順番で作業をしています。一部については、費用を年間積算でお願いしていますが、28箇所もありますので様々なケースがあります。全て同じルールにすることは困難です。

公衆トイレの新設は

Q 前年度の9月議会で、新町地区公衆トイレ新設工事について伺ったが、その時は地域の人と協議するという回答であった。その後の進捗状況は。

A 地域との協議はまだですが、地元から要望があったことは承知しており、適当な土地について、地主さんとの交渉がされています。確定した段階で地域協議を行う予定です。現在はまだ地元への説明会まで至っていない状況です。

Q 今後、公衆トイレ新設の予定は、実施計画の観光地整備事業公衆トイレ建設関係で、30年度は1050万円で概算の予算計上がされているが、三留野宿での新設とは新町地区のことか。

A 三留野宿のことです。予算は他の箇所も含めてのものです。

Q 洋式トイレに変更をすることについて、町の考えは。また、場所はどこか。

A 既存の建物で出来るなら、便器変更等安価な予算内で行いたいです。当面の候補は、柿其恋路峠と、天白公園です。

Q それぞれの予算の内訳は。

A 綺麗なところのおもてなしの心でのトイレ新設は、洋式の水洗で約550万円の（前年柿其渓谷トイレ）ベースで行いたいと考えています。

意見 快適に観光してもらえるように、公衆トイレの新設をお願いしたい。

駅の洋式トイレ

災害対策の見直しをお願いしたい

Ⓐ 避難所の充実化に取り組みたい

移住定住対策で子育て支援の充実化を

Ⓐ 協議などを行い、検討していきたい

高橋　進 議員

避難所の備え、充実を

Ⓠ 災害発生時、クーラーやテレビ視聴の必要性など避難場所の充実について伺う。今年の災害をふまえて長期停電に対する発電機の容易な接続方法を検討する必要があると思われるが町の考えは。

Ⓐ 現在、クーラー設備がある避難所は、役場、会館、デイサービスセンターです。また、スポットクーラーも導入を予定しています。テレビは、各分館に配置したところですが、集会所などは広域ケーブルが接続されていない施設が多いので、映らなかったと思います。発電機については、小型発電機が消防用に役場常備で4台あります。

意見 災害発生時には避難所でのテレビ視聴や、時期によっては冷暖房の設備も必要である。集会所などの避難場所にケーブルテレビの簡易接続環境、クーラー設置の補助をお願いしたい。また、社会体育館や会館などの大型施設には、外部電源が容易に接続できるような設備を設けることを要望する。

町に給水車はあるか

Ⓠ 給水車の備えは。

Ⓐ 給水車はありませんが、1000Lと1500Lの車載タンクが2基、20Lポリタンクが70個用意してあります。

Ⓠ 既存の備えだけで足りるか。

Ⓐ 不足しているかどうか検討したいと思います。

意見 梨子沢災害時には、応援給水があり助かった。最低限、町内をまかなえて、可能なら近隣町村へ応援に行ける程度の設備となるよう見直していただきたい。

Ⓠ 梨子沢災害の反省点は。

また、災害時に地元や日赤奉仕団の出番がなかったと聞くが、地元や日赤奉仕団との関係は。

Ⓐ 反省点としては、避難所開設のマニュアル化、役場への設置再考、建設組合との関係を密にする、テレビやラジオが入ると良い、安眠・プライバシーセットが良かった…などです。

また、避難所の開設に伴い、県の危機管理部において食事の対応をしていただきました。災害規模にもよりますが、場合によっては地元での対応も検討していく予定です。

意見 災害は無いに越したことはないが、万一の時に対して備えをお願いしたい。

子育て支援について カバン・制服・バス

Ⓠ 全国的に少子化問題が取り上げられており、町独自の人口増施策が必要と思われる。

子育て支援の一つとして、小中学校の入学時にカバンの貸与をできないか。

Ⓐ 現在、小学校の通学カバンの規格などは自由となっていますが、ランドセルなど購入時には4～5万円かかると聞いています。ランドセルに寄せる保護者の考え方もあるので、今後、学校や保護者とも相談する中で検討したいと考えています。中学校は、現状のままでと考えます。

Ⓠ 中学校の制服補助が必要だと、昨年の定例会で質問したが、進捗状況は。

Ⓐ 制服補助については、現時点では考えていません。

Ⓠ 高校生の通学費用の負担軽減のため、通学バスを無料化できないか。

Ⓐ 地域バスは町で運行しており、現在も割安な通学定期を利用していただいています。生徒のバス利用の実態なども把握する中で検討したいと思います。

読書保育園への道に待避場を

Ⓠ 読書保育園の送迎時、国道19号からJRガードの間は、狭くてすれ違いに手間がかかり、朝夕の忙しい時間帯に苦慮している。また、国道19号で待たなければならないこともあり危険だと感じる。途中に待避所が必要と思われるが。

Ⓐ 国道の高瀬橋、坂の下線の交差点改良が24年度から進められていますが、進捗が良くありません。空き地は、幸いにも国道所有であるため、待避所ということであれば協議を進めていきたいです。

意見 交差点改良も早急にお願いしたい。

移住定住対策として、一人でも多くの人が南木曽町を選び、住んで良かったと自慢のできる町を目指して、引き続き取り組みをお願いしたい。

出産・子育てがしやすい環境づくりを

Ⓐ 支援制度の充実化を図りながら検討したい

万全な災害対策のため消防委員会の再開を

Ⓐ 消防団、関係機関で議論し検討していきたい

伊藤 寿子 議員

出産祝い金の再度見直しを

Q 平成17年に見直しとなり、一子につき一律2万円になった出産祝い金だが、以前は第一子・第二子が2万円、第三子からは8万円支給されていた。

昨年度生まれた新生児は町全体で15人と、危機的な状況になっている。

町は、若者定住・子育て支援等、様々な施策は打ち出してはいるが、なかなか思うようには進まない。

若い母親からは「何人産んでも一律では寂しい」という声も聞かれる。第三子以降を迷っている親もいると思う。少しでもそのきっかけとなれば、出産祝い金をもう一度見直してもいいのでは。

A 自立推進計画の中の福祉部会で協議の上決定したことで、現時点では変更は考えていません。子育て支援については、出産時から教育まで継続的に行うことと、保護者に良かったと言ってもらえるような施策を考えながら、できることから進めています。子育て世代以外にも納得してもらう中で、他にもさまざまな支援策を講じています。

Q 同じく自立をした上松町では一子につき一律10万円。大桑村では一律5万円、小学校、中学校入学時にそれぞれ5万円である。子育て支援については、町も医療費・児童手当等、充実しているが、それらは全て生まれてからのものと考える。先ずは子どもが生まれることから始まるのでは。

A 祝い金を増やせば出産してもらえるかと言えば、それも疑問だという意見もあります。今ある支援策の中身をさらに充実させていきたいと考えます。

Q そういう支援策を若い親世代に周知しているか。

A 広報なぎそなどに、随時掲載していますが、徹底していないので、まとめたものを今制作しています。

意見 若いお母さん達は出産しても働いており、なおかつ、イベントの企画・運営まで行っている人達もいる。元気があって、大変良いことだ。是非、周知徹底して頂くように。

そこにもう一つ、見直された出産祝い金が掲載されることを切に願う。

消防委員会の再開について

Q 消防委員会が無くなってから十数年経過している。議会では総務文教常任委員会がその役割を担っているが、3年間消防団と関わってきた中で、大会や行事には参加をしてきたが意見や要望等はなにも上がって来ない。消防団と役場が直結している現状だが、間にワンクッションあっても良いのでは。

A 元々委員会は消防関係の条例の審議、計画や実績報告等の内容で年に1回程度の開催だったと思います。再開となれば消防団その他関係機関で、議論する必要があります。

Q 今、日本各地で災害が多発しており、10年前とは状況も変わってきている。

命がけで現場に入る団員を守るという意味でも、また先日の木曽川増水時の対応、避難所の設備についても、委員会があればそこで検討されることもあると思うが。

A そういうことになると前の消防委員会とは少し違ってきますのでやはり議論が必要となります。

意見 纏会（まとまりかい）の中でもそういった意見があると聞く。議会はもちろんのこと、消防団、各関係機関等で議論して頂き、もう一度見直されることを要望します。

南木曽町消防団 出初式の様子

移住定住につながる工夫を

Ⓐ 移住受入体制を強化し、人口増加につなげたい

若者のためのまちづくりを

Ⓐ スタートは「まず知り合うこと、交流から」

矢澤 和重 議員

移住定住の進捗状況は

Ⓠ 南木曽町地方創生総合戦略事業が事業ごとに進捗していると思うが、移住定住の進捗状況と総合分析について、20～30代の転入者数、転出者数の数値目標、総合分析は。

Ⓐ 転入者数は、平成29年の目標数値140人に対して、実績数は175人と35人超えています。転出者数は、目標数値160人に対して、234人と74人超えています。人口減少には歯止めが掛かっていないのが現状です。

Ⓠ 転出者数が目安値を上回っていて、28年も同様である。縮減を図る取り組みは。

Ⓐ 町に住む人の転出を少しでも抑えるように、住宅政策をしています。前年度は蘭地区に大島住宅、今年度は田立地区にUI住宅を予定しています。

町の〝強み〟

Ⓠ 「強みを活かしたU・Iターンの促進」とあるが、町の〝強み〟とは。

Ⓐ 平成27年、町への定住者を対象としたアンケートを行いました。

アンケート結果では、良かった点に「ライフバランスが良くなった」「仕事のやりがいがある」「子育て環境が良くなった」などが挙げられ、その反対意見として「生活に不便を感じる」「仕事の収入が減少した」などがありました。

また、幸福感は45％の人が高まったとあり、「人との交流」や「自然と文化」が強みと考えています。

移住体験プログラムの改善を

Ⓠ 移住体験プログラムを検討されていると思うが、提案として観光に農業体験や木工体験などを取り入れるなど、地域や民間事業者を巻き込んだ滞在型体験観光をプログラムに入れるよう検討していただきたい。

Ⓐ 検討していきたいと思います。移住受入体制の強化として、今年度はホームページに移住者の声を体験談として載せます。

また、住宅、就業、子育て支援を分かりやすくリニューアルします。ほかにも広域連携協定の取り組みで、移住定住相談ポータルサイトを開設します。

また、移住ツアーを10月13～14日に定員15名で行います。町内の企業見学、地域おこし協力隊と交流をする予定もあります。

若者まちづくり推進事業の状況は

Ⓠ 若者まちづくり推進事業で、今年2月に意見交換会を行っているが、その後の進捗状況は。

Ⓐ 南木曽町のまちづくりに対し、様々な意見を伺いました。その中からテーマを絞り、「活気ある町の実現」、「若者の夢が叶う町づくり」を目指したいと思います。

今年度からは、意見交換会から若者まちづくり会議として発展させ、10月以降から実施していきます。意見の中にもあった「まず知り合うこと、交流から」と言うことで18～38歳を中心に、町に定住している人、町にゆかりのある人、Uターン移住を考えている人と交流をして、まちづくりについて考えていただき町に提言していただくなど、まちづくりに活かしていく予定です。

若者意見交換会の様子

意見 ぜひ、しっかりと進めていただきたい。南木曽町の人口も4200人を切っている。

これからの南木曽町を担っていくのは若者たちである。若者たちが将来の南木曽町を考える場が必要と常々考えており、自分も努力するので、若者まちづくり会議が発展することに期待している。

子どもの医療費、レセプト代の全額補助を

Ⓐ 実行できればいいが、検討の時間を

新たな森林管理システムには課題が多いが

Ⓐ 地域経済に繋がる山づくりを見つけていく

坂本　満 議員

子どもの医療受診、県外の割合は何％

Ⓠ 8月1日から長野県においてもようやく子どもの医療費の窓口無料化が実現した。

町における子どもの医療費窓口無料化は、県外では適用されない。県外での受診は何割くらいか。

Ⓐ 昨年度の数値では県内の医療機関が31％、県外は69％で、そのうち坂下病院22％です。

県境ということで、県内での受診が3割程度になっています。

窓口無料化の恩恵を

Ⓠ 中津川市では中学生まで窓口無料化になっているが、町の受診者は対象外だ。窓口支払負担を無くす方法はないか。

Ⓐ システムの統一が必要になるかと思います。どんな方法があるかや、実現の可能性を調査、研究させていただきたいと思います。

レセプト代全額補助を

Ⓠ 南木曽町の場合は、窓口無料化制度の恩恵が十分でない。

制度を補完する支援として、300円負担のレセプト代を全額補助できないか。

Ⓐ 昨年の申請件数が6，400件くらいあります。

子育て支援のことは、どれもが実行できればいいですが、どういう順番にやっていくか、検討の時間をいただいてできるところから行っていきたいです。

Ⓠ 窓口無料化した県がレセプト代を負担するのがいいと思う。

完全な子ども医療費窓口無料化という方向に向けて、県に行政側からも働きかけをしていただきたい。

Ⓐ 町村会とも一緒になって働きかけていきたいし、町独自としても、特に県境ということで実状を訴えていきたいと思います。

課題の多い森林経営管理法、町の受け止めは

Ⓠ 森林経営管理法が今年6月1日に施行された。森林経営管理法の対象となる森林は。

Ⓐ 森林法第5条第1項の森林面積で、森林整備計画に示す民有林6037haである。

Ⓠ 法律からは所有者の権限の抑制と、経営を肩代わりする自治体への過大な負担とが見えてくる。

また森林伐採後の植林保育の問題もある。

町にとって、先々にわたってこの制度を良い方向に使っていけることを検討していくことが必要だ。

Ⓐ 森林が多い町としては、この法律や、譲与税を有効に使う方法を考えていかないといけないと思いますが、簡単に整備された山になるかといえば、それは大変なことです。

実際にはいろいろな課題が出てくると思いますが、最終的には地域の皆さんが森林事業に意欲をもって取り組めるか、それが地域経済に繋がる山づくりとなるのかを見つけていくことになるのではないでしょうか。

木の価値が高い山は100年後、200年後になるかもしれません。そんなことまで考えながら皆さんと一緒になって取り組んでいきたいと思います。

生活に結びついた山林となる日を

ブロック塀の管理は

Ⓠ 自宅のブロック塀の安全点検や改修への支援はあるか。

管理方法について住民への情報提供を。

Ⓐ 現時点で改修の補助制度はありません。

簡易な調査方法があるか県や関係機関に問合せ、管理基準などの情報を検討します。

豪雨時の上流ダムの放流対策、木曽川洪水の氾濫予測シミュレーションを

Ⓐ 各関係機関と連携し作成したい

早川 親利 議員

十分な災害対策を

Q 7月の豪雨、台風21号の上陸に伴い、全国各地で大きな災害が発生した。

木曽川の洪水は、各町村で川沿い集落等の大勢の方が避難を余儀なくされた。また木曽川に架かる橋の流失や通行止めになり日常生活に支障をきたした。

これは、大雨による河川の増水だけではなく上流にあるダムの放流の仕方にも原因があると思われる。

今回、上流ダムから放流量の事前連絡はあったか。

A 既定流量となったため、読書ダム、牧尾ダム、河川管理者の木曽建設事務所から連絡が入りました。

Q 味噌川ダム、御岳ダムからの連絡はないか。

A 現時点では、ありません。

Q 今度の災害後、木曽建設事務所主催で対策会議が開かれたようだが、詳細な説明をお願いしたい。

A 木曽圏域大規模氾濫減災協議会という会議で年1回開催しています。今年は、6月と8月に開催されました。会議内容は、木曽川の増水時における対応、事前通告や予備放流が早めにできないか等を協議しました。

※出席機関は左表参照

Q 先日の木曽広域議会で、このような会議を木曽広域主体で開催できないか質問した。原連合長は、木曽川は長野県管理などで広域ではできないとの返事だった。しかし木曽川流域に住む人々の命や財産を守るのは、町村であると思う。町長の考えは。

A 私もその様に思います。10月には、町村と広域連合を主として、関係機関を集めた会議を開催していただくことになっています。

Q 木曽建設事務所主催の会議は、年1回ではなく梅雨前、台風シーズン前、災害発生後等に開くよう要請するべきと思うが。

A そのことも含めて10月の会議でしっかり要望します。

Q これだけ多くの機関が集まって協議会を開催しているので各ダムからの放流量を事前に知らせてもらうよう要請できないか。

A 次の会議で要請したいと思います。

豪雨時のシミュレーションを

Q これほどある機関の情報を駆使し、豪雨時の降水量や放流量を計算して、危険流量や氾濫水量、洪水到達時間等のシミュレーションを作成してもらうよう要請して欲しい。

A これまでも、シミュレーションの作成を要請していますが、大変難しいとの返事です。

Q 町単独でシミュレーションできないか。

A シミュレーションをするには、時間と相当な予算が必要になります。町では、今までの牧尾ダムからの放流データがあるので、それを参考に放流量と高瀬橋での水位の関係を検証したいと思っていますが、牧尾ダムから高瀬橋間の木曽川への流入量がわからないので専門的な検証が必要となります。今後の増水対策のために参考資料として作成したいと考えています。

Q 7月の豪雨時に木祖村の味噌川ダムは、貯水量とこれからの降水量を計算し、放流しなくても何とかなるとの判断で放流しなかったと聞いている。

これがまさにシミュレーションだと思う。このようなことを例に挙げ強く要請していただきたい。

A 治水機能が無いダムでも、このような豪雨時には、事前に放流してもらえるよう要請します。

Q 記録的短時間大雨情報が発表された時には、事前に放流するように要請できないか。

A 10月に行われる会議で、上流ダムに対し治水操作、早急な河川整備計画の作成、木曽川の河川改修をお願いする考えです。

木曽圏域大規模氾濫減災協議会 出席機関

- 国土交通省
  - 多治見砂防工事事務所
  - 飯田国道工事事務所
- 森林管理署
- 木曽警察署
- 木曽地域振興局
- 木曽建設事務所
- 木曽広域消防署
- 木曽広域連合事務局
- 各町村

※アドバイザーとして
気象台、長野県河川課
水資源機構、関西電力
長野県危機管理防災課等
※会長は木曽建設事務所

私有林（民間の山）の売買等規制、条例化を

A 関係者に相談しながら対応しているが、関連、関係機関と協議し、具体策を出していく

北原　隆光 議員

私有林の管理運営、経営についての考えは

Q 私有林（民間の山）の管理運営、経営について、町の考えを問う。

6月に施行された国の「森林経営管理法」を活用し、林業経営、森林整備を計り、最初は山林所有者との話し合いから始めたいと聞いたが、具体策はあるのか。

A この法案は、自治体が自主的な判断もしながら事業化することができる法です。

町内の森林活用と国土保全のため、町として関連、関係機関と協議を重ね、具体策を出していかなければならないと考えています。ご指導、ご協力をお願いします。

森林に対する規制はあるか

Q 民間の山林所有者のほとんどが小規模森林所有者で、900人以上の所有者がいる。そのうち200人が町外所有者となっていることもあり、近年は林業として経営できない山が多くなっている。

これまで町には、山林の相続、譲渡、買収などの相談はないか。また、森林に対する規制はあるか伺う。

A 町への相談は、何件かあります。森林組合など関係者に相談しながら対応している状況です。町の現在の森林整備計画から大きく変わることがないよう進めていますが、課題のひとつとなっています。

規制に関しては、1万㎡を超える林地開発については、事前に届出が必要です。また、水資源などについては県の条例があります。

私有林（民間の山）の売買等規制のために、町独自の条例を

Q 町内で解決できれば問題ないと考える。森林法は、規模が広範囲であり当町の小規模な山林は適用から外れ、自由に譲渡、転売が可能になる。また、県の水資源も指定から外れている。

以上のことから、もし外資系の資本が入ったり、買収されたりした場合、町としては山の管理に大きな問題が発生する可能性があり、そのための規約、法的には条例を整備することを提案したい。

町民への重圧、負担とならない町独自の条例を全国的に先駆けて創るよう提言する。

A よく研究しなければ、条例は難しいと思います。全国的に外資系の人に買われてしまい、困っていることも聞きます。

水資源保全全国自治体連絡会に入っておりますので、町としてはまずそちらを活用しながら対応を考えていきたいと思っています。

※イメージ写真です

９月定例会　補正予算審議概要

平成30年９月期予算（一般会計、特別会計）が可決されました。
審議の主な質疑は、除雪対策、蘇南高校の駐輪場、農産物振興、教育施設の空調設備などでした。

平成30年９月期補正予算（9/27決）

一般会計補正予算　5281万4千円を増額
総　額　37億6323万7千円に

●会計別補正予算　（単位：千円）

会　計	補正額	補正後の金額
一般会計	52,814	3,763,237
国民健康保険特別会計	850	495,053
簡易水道事業特別会計	4,026	184,078
町営妻籠宿有料駐車場特別会計	593	31,818
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	11,293	115,691
後期高齢者医療特別会計	307	74,314

●一般会計補正の主なもの　（単位：千円）

事業名	金額
デイサービスセンター空調設備更新	2,450
若者まちづくり推進事業	1,280
有害鳥獣駆除事業	3,465
除雪対策（融雪剤散布委託料、重機使用料）事業	9,360
細畑沢自然災害防止事業	4,140
学校等空調設備整備に関する調査計画費	4,700

除雪対策

Q 車両による融雪剤散布委託の内容は。

A 建設環境課長
職員が融雪剤を散布していたが、時間的に対応が難しいことから、町内業者に散布機械を貸出して作業を委託します。

Q 駅から役場方面の歩道と、各所の歩道橋の除雪を。

A 建設環境課長
内部で検討します。

クレジットカード

Q 外国人が多く訪れている。買い物クレジットカード決済の導入支援を。

A 産業観光課長
導入の初期費用に観光庁の補助制度を活用できないか研究します。

Q 南木曽駅でクレジットカードでの切符購入ができないか。

A 産業観光課長
５年ほど前からＪＲにお願いしていますが、引き続き要望していきます。

若者まちづくり

Q 若者まちづくり委員会の活動内容は。

A 戦略室長
若者の意見をまちづくりに活かしていくことを目的にしています。今年度は、若者交流会を開催して活動を広げていきます。

各地の工事関係

Q 町道上の原線の、全面通行止め区間での、観光客への対応は。

A 産業観光課長
観光客が安全に通れるように、迂廻路を設置しています。

Q 長坂団地の配水管延長工事の内容は。

A 建設水道課長
長坂団地付近で家屋が増えたことに伴う消火栓設置のための配水管工事です。

農産物振興

Q 上の原漬物工場の状況は。

A 産業観光課長
上の原漬物工場については、現在岩倉村おこし組合が引き継いで事業を行っています。

Q 田立のお茶ペットボトルへの補助とは。

A 産業観光課長
田立のお茶のペットボトルについては、町を宣伝するためにパッケージに対して補助をしています。

田立のお茶ペットボトル
「お茶だにぃ〜」

議会だより

三軒屋地区の水道

Q 小規模水道の過疎債減額は三軒屋地区での事業見直しか。

A 町長
今現在、水に困っている状況の解消が何より大事なことです。
井戸を掘りましたが、残念ながら良い水や水量が出ず、その中でも応急的な方法を検討しています。過疎債の事業にはなりませんが、対策事業は実施します。

Q 配管の設計等はどうなっているか。

A 建設水道課長
現在設計中ですが、国道をはずすなど、仮設的になるべくコストを抑えた形で配管します。水量的には、ほかへの影響は無いと考えています。今年度中に工事をする予定です。

要望 早急に実施して欲しい。

福祉灯油

Q 今年は灯油が100円を超えていると聞く。この冬の寒さ対策として、福祉灯油の検討を。

A 住民課長
原油等上昇傾向にあり、状況を見ながら検討します。

教育施設のエアコン

Q 学校等の空調設備の調査計画はどうなっているか、8月臨時議会で出たスポットクーラーのその後は。

A 教育長
小・中学校、保育園では、現在、特別教室等に設置されています。新たなエアコン設置は普通教室を中心に設置の可能性について検討を考えています。

A 戦略室長
スポットクーラーについては、8月中に納入予定でしたが、西日本で発生した災害地区へ優先対応のため在庫がなく、12月になります。その後は順番に公民館等へ配置する予定です。

蘇南高校の駐輪場

Q 蘇南高校の自転車置き場が手狭な状況だが拡げられないか。

A 教育長
下宿生徒が増え、手狭になっています。公園広場の活用の事情もあるので、関係者と打ち合わせながら検討します。

蘇南高校駐輪場

全員協議会　議会と町の意見交換 —(9月18日・27日)—

- 読書保育園駐車場整備事業
- 中津川市公立病院地域協議会委員の推薦
- 台風21号豪雨災害状況
- 医療アンケート、坂下病院の現況など
- 県立高校改革
- 保育所のあり方
- 蘭社会教育施設利用に係る賃貸借料

読書保育園駐車場整備事業

説明概要
◆場所　園庭南側に設置
◆規模　35台駐車予定
◆完成　来年3月

読書保育園駐車場予定地

質疑 読書保育園駐車場整備

Q 保育園統合時期に駐車場を作るということは、ここに統合する計画なのか。
A 保育所審議会で保育園のあり方や統合について諮問し協議していますが、読書保育園の駐車場や入口はたいへん狭く、従来から要望が出ていたものを計画に沿って整備するものです。

Q 巨石の処理が大変なら、盛り土をして災害防止の土塁の役目も果たせるようにしてはどうか。
A 詳細設計で検討します。

Q 卒園式までに完成するか。
A 12月に工事発注して3月までに完成したいと考えています。

Q 駐車場の規模は、園児数等を考えて計画しているか。
A 現在の職員数や園児の世帯数を考えて計画しています。

台風21号豪雨災害状況

説明概要 詳細は、左図のとおりです。

◆災害発生日	◆被災状況	
平成30年９月４日～５日	国道256号	倒木
◆避難状況	主要地方道	３路線倒木
・町内７分館 ・十二兼集会所 ・蘇南高校 ・南木曽会館 ・避難対象 85世帯192人 ・避難者 15世帯29人	町道29路線	路肩決壊、路肩崩落、倒木、陥没等37箇所
	河　　川	２河川倒木等３箇所
	林　　道	５路線倒木等９箇所
	農　　道	２路線倒木等４箇所
	水　　路	４水路倒木等４箇所
	農　　地	４地区倒木、土砂流入等
	観光施設	８箇所倒木、屋根破損等８箇所
	教育施設	社体壁破損等５箇所
	水道施設	水源土砂流入、倒木等６箇所
	被　災　額	約2600万円

質疑 台風21号災害関係

Q 高瀬橋の水位上昇で通行止めになる。河床を下げられないか。

A 河川中央の橋脚の補強が必要となり、河床を下げることはできません。

Q 桃介橋の右岸側橋脚が洗われ危険だ、護岸の整備を。

A 現場を確認して、県に要望します。

Q 大桑橋が流れた。町内の木曽川に架かる橋の安全性チェックは。

A 水が引いたら調査します。

Q 避難勧告の際、飲料水と毛布を持って避難するようにと放送されたが、風雨の中、毛布などを運ぶのは大変だ。

A 避難所には毛布を設置していますが、呼びかけ方を工夫します。

Q 避難勧告を出すときは、消防団が廻って説明等指示してほしい。

A できるだけ統一して勧告を出したいと思います。ただし、今回のように緊急の場合もありうるので承知していただくようお願いします。

Q 与川地区のように長時間の停電が起きた場合どのような対策を考えているか。

A 発電機等の貸し出し、避難所での対応などを考えます。

県立高校改革

説明概要 長野県教育委員会から９月19日に高校改革実施方針が公表されました。現在、木曽青峰高校は募集定員160人で、普通科、理数科、森林環境科及びインテリア科が各１学級となっています。

蘇南高校は募集定員80人で総合学科２学級となっています。木曽地域の再編計画の方向としては、今後少子化が進行する中、どのような学びの場を構成していくか慎重な検討が必要であり、これらの観点を踏まえ普通科と専門学科のバランスを考慮しながら、地域と密着した中山間地存立校を配置していくことが考えられるとしています。

教育長からは、これから木曽地域の高校再編の在り方を話し合う地域協議会の立ち上げについて取り組んでいくことが報告されました。

質疑 県立高校改革関係

意見 県教育委員会では、地域協議会の議論とは別に再編基準に該当した高校は再編対象となる考えを示しているので、木曽地域に２校が存続できるように地域協議会の中でしっかりと話し合っていただきたい。

意見 大前提の40人学級を見直し、30人学級などへの制度転換で学校・学科等を減らさず教育の質の向上を図るべき。

医療アンケート、坂下病院の現況など

説明概要

国保坂下病院の現状と見通し、やさか地域の区長会や南木曽町地域振興協議会会長会議などの要望書に対する中津川市からの回答について、町からの報告がありました。昨年に引き続いて行う「医療アンケート」の実施内容等についても説明がありました。

また、質疑の中で「南木曽町の医療を考える懇談会」の提案が示されました。

質疑　坂下病院の現状や見通し、要望書への回答などの関係

Q　診療科の診察日が11月からさらに減る。坂下病院に地域包括ケア病床をおくような考えはないのか。

A　改革プランでは急性期は市民病院が担い、坂下病院は、50床の療養病床ということです。

その中で回復期の病床をもつ有床の診療所という話も出ていますが、確定はしていないとの情報です。

Q　坂下病院の掲示板では常勤医師は内科と小児科だけで、他は全部非常勤だ。

課題は医師不足というより医師が離れて行くということではないのか。

A　医師確保についてはできることを取り組みたいので機会があれば話はしたいですが、市のほうで進めているという実態があります。現状は診療科も維持されており、市は出来る限り維持していくとも言っています。

Q　年度内の市長方針の見直しでは、さらに縮小されるということか。

A　有床診療所あるいは指定管理の部分については見直しの中に盛り込まれるかもしれません。

意見　介護の状況を見ても、急性期には市民病院や木曽病院に行かざるを得ない状況だが、近くに急性期病床があることが住民の安心になる。

質疑　医療アンケート関係

Q　字が小さく、書く場所が分かりにくい。一人１枚にはならないか。

A　前回より質問項目が増えているためです。回答がしやすいように整理検討します。

Q　区長に出すのが面倒で回収率が懸念される。回収方法の検討を。

A　配布はお願い文書をつけますが、区によって状況が違うので検討します。

Q　アンケート内容が高齢者向けで、子育て世代などへの配慮は。

アンケートの結果報告の日程を明確に。

A　アンケートの一番の目的はどこの医療機関に掛かっているかの状況をつかむことです。

特に通院の足をどうするか、早急に検討するための参考にしたいです。

中津川市公立病院地域協議会委員の推薦

説明概要

総務文教委員長（坂本満議員）を引き続き推薦しました。

「南木曽町の医療を考える懇談会」の設置について

説明概要

「南木曽町の医療を考える懇談会」（案）を検討しています。

目的は「町内において将来安心して医療が受けられるよう、医師と関係者が集まり、現状と将来の取り組みについて意見交換を行い、医療環境整備の参考とする」ためです。

地元医師、木曽病院・木曽地域の医療を守る会、地域から南木曽の医療を守る会代表、社協会長、あすなろ荘所長、議会、また学識経験者、副町長などがメンバーです。

質疑

Q　眼科、耳鼻科などがなくなれば心配だが、町はどういう対応をとるのか。

A　町長

坂下病院から減っていく診療科目の出張診療などを、県立病院で応援できないか、また、遠隔医療の導入ができないかなど木曽病院の運営協議会でもしていますが、直ぐにはできない問題です。

将来の医療体制については、いろんな要望がありますが、地元医師や医療関係者と相談する中で、アイデアを見い出したいと思います。

議長　「南木曽町の医療を考える懇談会」を設ける件については認めたものとして扱う。

山本学園による蘭社会教育施設（旧蘭小学校）の利用

説明概要

◆施設利用者
学校法人山本学園（愛知県知立市）

◆開校予定
平成32年4月

◆形態
登校型広域通信制（長野県・岐阜県・愛知県）高等学校

◆使用施設
校舎、駐車場、校庭

◆賃貸借契約期間
平成31年4月～平成36年3月（5年間）

◆施設賃貸借料の減免について
開校後は蘭校への定期的な登校や塩尻校、知立校からの宿泊を伴ったスクーリング参加、町内施設等での体験学習なども計画されていることから、学校運営の支援策として施設賃貸借料の減免措置を講じる予定です。

質疑 蘭社会教育施設の利用

Q 契約期間が５年となっているが、５年で終わってしまうようなことにはならないか。

A この学校法人は、すでに専修学校としての実績があり、今回は通信制高校を運営することで、発展していくものと思われます。町としてもできる支援をしながら地域の活性化にも期待をしているところです。

Q 宿泊を伴うとあるが、どこへ泊るのか。

A 町内の宿泊施設と交渉しているようです。

保育所のあり方

説明概要

保育所審議会（松原明彦会長以下20名）では、教育委員会の諮問を受け、今年６月から保育所のあり方の審議に入っています。

今回は、７月に取り組んだアンケート調査の結果（内容は前回の広報参照）と保育所審議会での審議経過の説明がありました。

質疑 保育所のあり方

Q アンケート結果で統合賛成が90％と分析しているが、そのうち条件付きの賛成が30％含まれている。条件を満たさなければ賛成はもっと減るのではないか。特に２歳児以下の受け入れ態勢が問題と思うが。

A 教育委員会では、条件付きを含めての賛成が90％と受けとめています。条件付き賛成の方の諸条件の内容について、ご意見を伺いながら、これから検討していきます。

Q アンケートの回答率が45.7％となっているが、半分に満たないということは関心が無いともとれるがどのように分析しているか。
また、これで統合についての素案が提出できるのか。

A 回答率が低いのは残念ですが、アンケート結果としての意見ですので、受けとめて検討を進めたいと思います。
アンケートだけではなく、今まで園運営をしてきた中での色々な意見や、これから出される意見要望も含めて検討しており、あくまでも素案です。

お知らせ

天候不順のため延期させていただきました、議会主催住民懇談会を開催します。

◆日　時　11月10日㈯　午後１時30分から午後５時まで
◆場　所　南木曽会館ホール
◆内　容　講演会①「がん、とは？」
講師：県立木曽病院　副院長　小出直彦先生
講演会②「保健師活動から学んだ南木曽の底力」
講師：保健師　前澤智美さん
議会との懇談会

※詳しい内容は、ケーブルテレビ文字放送または、区長配布のチラシをご覧ください。

聞いて

私の思い

蘭地域振興協議会
平成30年度会長
古川 光弘さん

地域振興「蘭でこそできること」を

地域の振興は誰のためのものか、地域すべての人が喜ぶのか。住む人は、それぞれで考え方が違うため、すべての人に喜んで貰うのはすごく大変なことだと思います。個人がやりたいことをやる、それに賛同者が付いてくる、組織ができる。何かことが生まれていく過程と思います。

「自己表現ができる地域づくりが大切」と感じます。蘭地域の人は総体的に新しいものが好きで、積極的に取り組み、取り入れてきたという印象があります。事業しかり、人（移住者）しかりです。

最近はリニア等、難しい問題が出てきています。当然、住民の皆さんの安全安心を守ることを大前提とすべきですが、蘭らしい前向きな意見交換の機会がなくなってきていると感じます。

蘭は町の中心地から約10㎞離れた不便な所です。蘭地区以外の人が、あんな不便な所と言うのを時々耳にすることもあります。住めば都とはよく言ったものですが、ホテルや飲食店もあり町内でも賑やかな地域ではないでしょうか。

町の中心地も周辺地域と同じように過疎化が進んでいる現状を見れば、中心地に偏った政策のみでは今後の南木曽町の発展はないと感じます。「蘭でこそできること」を見つけられたら素晴らしいと思います。

議会の傍聴にお越しください

定例会は年４回（３月・６月・９月・12月）開催されます。詳しい日程などについては、音声告知端末放送、ケーブルテレビなどでお知らせします。

※９月の議会は、３日間で16人の傍聴がありました。
12日には、商工会女性部のみなさん８名が傍聴席で見学されました。

編集後記

今年度も半分過ぎました。９月定例議会では、平成29年度の決算が承認され、厳しい財政の中、町の健全運営が認められました。

７月の西日本豪雨、６月から８月にかけての猛暑、９月の北海道胆振東部地震、９月から10月にかけての大型台風の日本上陸など各地に大きな被害がもたらされました。冬になる前に早い復旧復興が待たれるところです。

町も何度か避難勧告が出され多くの方々が避難されましたが大事に至らずホッとしているところです。

しかし、９月の長雨で、台風で倒れてしまった稲の刈り取りが出来ず心配です。

この秋には、世界の歌姫、安室奈美恵さん、平成の大横綱貴乃花親方の引退が発表され、平成の幕引きと共に寂しさを感じるのは私だけでしょうか。

一般質問のページを拡大しました。ご意見をお寄せください。

議会報編集委員
坂本　満
近藤　隆
伊藤　寿子
早川　親利（記）